

地域連携型 空き家対策 促進事業

取組事例紹介

地域が主役！ わがまち空き家対策

空き家対策に取り組む地域を募集しています
〔活動費の補助制度あり(年間50万円・最大4年間)〕

お問合せ先:京都市 都市計画局 まち再生・創造推進室
〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地 TEL.075-222-3503



ステップ1 学区全体の空き家に関する正確な情報を把握する

まちあるき等を行い学区内の空き家の実態について整理することで、空き家が存在している箇所やその特性を把握します。

- 取組事例**
- ・町内会長等の協力のもと空き家情報を集約
 - ・住宅地図等に空き家の場所をマッピング
 - ・まちあるきをして空き家の外観調査を実施
 - ・登記簿を取得して空き家所有者を調査
 - ・空き家台帳・空き家マップの作成

全戸配布している銅駝学区の
防災マップ(銅駝学区)▶



▲まちあるきによる空き家外観調査(正親学区)



▲まちあるきの様子(紫野学区)



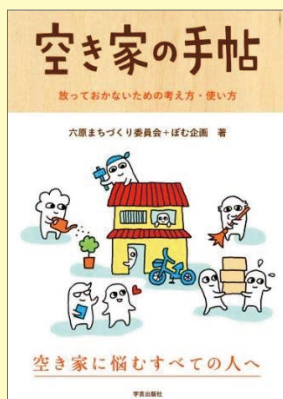
ステップ2 空き家対策の検討や地域住民への情報発信を行う

空き家に関する情報を見える化したり住民で話し合う場を設けることで、
空き家問題への意識や情報を地域に浸透させていきます。

- 取組事例**
- ・調査結果を基に、空き家対策の取組方針を検討
 - ・空き家に関する住民のワークショップを実施
 - ・空き家対策の取組をチラシ等で住民に周知



▲空き家に関するワークショップの様子(有隣学区)



▲「空き家の手帖」(六原学区)



▲「春日・空き家通信」(春日学区)

ステップ3 空き家所有者への働きかけや移住希望者に向けた広報活動

空き家所有者向けのアンケートや相談会を実施して、空き家活用等を働きかけます。また、新たな居住者を募集するための活動を行う地域もあります。

- 取組事例**
- ・空き家所有者へアンケート調査（使用状況、活用意向等）
 - ・空き家所有者向けの相談会を開催
 - ・空き家活用事例を紹介するパンフレットの作成
 - ・地域の魅力を発信するチラシやホームページを作成



▲空き家をはじめとした不動産よろず相談コーナー（山科区空き家対策協議会）



▲移住促進活動（大学生とパンフレット作成）（小野郷学区）



▲「その空き家、放置していませんか？有隣学区の空き家活用」（有隣学区）



▲空き家相談（待賢学区）



▲ホームページ「森の里×京北 移住ナビ」
<http://akiya.kyoto-keihoku.jp/>（京北学区）

ステップ4 学区内の空き家活用を進める

空き家所有者に働きかけて、空き家の活用を実現した地域もあります。

- ▶【写真左】映像文化に触れたり交流する施設として活用（朱雀第一学区）
- ▶【写真右】女性用シェアハウスとして活用（春日学区）



▲ゲストハウスに生まれ変わった空き家（有済学区）



▲住まいとして再整備された路地沿いの長屋（有隣学区）



▲地域の活動拠点として活用している空き家（明倫学区）



▲地域の交流拠点として活用されている空き家（右陰学区）